

当院 GICU で治療を受けられた患者さん及びそのご家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	本邦における集中治療後症候群の実態とリスク因子に関する多施設共同調査
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	周術期集中治療科
研究責任者	教授（特任）、藤田義人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	1、札幌医科大学集中治療医学 巽 博臣 2、那覇市立病院 ICU 里井陽介 3、前橋赤十字病院高度救命救急センター ICU 栗原知己 4、自治医科大学附属病院看護部 福田侑子 5、奈良県立医科大学付属病院看護実践・キャリア支援センター 辻本雄大 6、筑波大学附属病院集中治療室 柴優子 7、公立昭和病院救命救急センター 木下 麻紀 8、京都大学医学部附属病院集中治療室 佐藤 智夫 9、東北医科薬科大学集中治療室 日野 真弓 10、福岡赤十字病院 ICU/CCU 白坂雅子 11、日本医科大学武蔵小杉病院集中治療室 山口 貴子 12、公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 ICU 長尾 工 13、金沢医科大学病院看護部ハートセンター 北山未央
研究の意義・目的	ICU から退室した患者さんの症状、生活の質、日常生活の実態を明らかにし、また、症状とそのリスク因子を解明することを目的としています。
対象となる患者さん	2018年12月～2019年11月に周術期集中治療室へ3泊以上連続して入室し、生存退院した18歳以上の患者
研究の方法	対象の患者様に対し、事前協力依頼文をお送りし、その後電話にて研究の手指を説明させていただきます。後日郵送する説明文と同意書に参加の可否を記入していただきます。研究同意の得られた方には、質問紙をお送りいたしますので、質問にお答えしていただき郵送で研究担当者まで送っていただきます。カルテから得られた診療情報（年齢や性別、集中治療室の入室期間、重症度スコアなど）と質問紙は研究事務局へ郵送し解析いたします。

研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021年10月31日
情報	年齢、性別、集中治療室の入室期間、重症度スコアなど
外部への試料・情報の提供	カルテから得られた診療情報（年齢や性別、集中治療室の入室期間、重症度スコアなど）と質問紙は集計した後、研究事務局へ郵送いたします。その際、お名前や住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします
情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 GICU 診療看護師 森一直 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 78324）